

## 特許出願公告及特許拔萃

### 特許出願公告拔萃

**金屬微粒子製造方法** (10年特許公告第2516號、公告10-6-19、東京市、江澤謙二郎) 従來の方法にては到底達成し得られざる酸化せざる金屬微粒子を有効に且經濟的に得んとする目的を以て金屬噴射法によりて金屬粒子を生成するに當り高壓の還元性又は不活性瓦斯流例へば水素又は窒素瓦斯流を以て熔融金屬を低壓特に高度の真空状態に維持せる真空槽内に噴射せしむることを特徴とする酸化せざる金屬微粒子の製造法。

**輕合金上の酸化皮膜の耐蝕性及絶縁性を増進せしむる方法** (10年特許公告第2517號、公告10-6-19、東京市、逓信大臣) 極めて容易なる方法により *Al*, *Mg*, 又は之等金屬を含有せる輕合金上に化成せしめたる酸化皮膜の耐蝕性並に絶縁性を増進せしめんとする目的を以て、*Al*, *Mg*, 又は之等金屬を含有せる輕合金上に電解酸化法又は浸漬法によりて酸化皮膜を賦與せしめたるものをオレイン酸又はナフテン酸中にて浸漬又は浸漬加熱し夫等酸化皮膜の耐蝕性並に絶縁性を増進せしむる方法。

**磨耗試験装置** (10年特許公告第2535號、公告10-6-21、仙臺市、錦織清治) 鑛山用諸機械の部分品又はドレッヂャー用バケツト其他土砂或は鑛石等により不規則なる磨耗を受くる部分の各種材料の磨耗の比較試験を比較的簡單に行ひ以て試験前後の磨耗度を容易に認識せむとする目的を以て、同一形状に形成せる異種の試験片を水平軸の周りに廻轉する廻轉圓筒の内壁に等距離を保ちて放射状に突出固定し該圓筒内には所定量の土砂又は鑛石類を收容せることを特徴とする磨耗試験装置。

**遠心力鑄造用長尺導湯樋** (10年特許公告第2555號、公告10-6-21、東京市、中島統一) 内面の掃除修理を支障無く簡易に行ひ得て而も使用に際しては豫熱を充分に行ひ且つ熔融鋼の表面冷却を防止し得る如き導湯樋を得る目的を以て、樋體の上面に第一第二の蓋體を連接せしめて設け其の兩連接端に近く夫々轉軸を定着し兩轉軸を樋體に取付け且つ互に齧合する齒輪を介して互に連結し一方の轉軸を回動せしむることに依りて兩蓋體を同時に起伏せしめ得る如く爲したる遠心力鑄造用長尺導湯樋。

**爆發機關用減爆音燃料の製造法** (10年特許公告第2541號、公告10-6-21、伊太利國) 爆發機關用に適する廉價なる爆音減消燃料を得んとする目的を以て、常溫にて40~60%のエチルアルコール[無水ならざる時は95%のもの]又は合成メチルアルコールを60~40%のアスファルト輕油又はタール輕油と混じ次に該蒸氣を適當なる装置にて蒸餾し其の際發生する蒸氣を適宜350°C~500°Cの溫度に於て分解することより成る爆發機關用減爆音燃料の製造法。

**無繼手トラツプ鉛管鑄造装置** (10年特許公告第2551號、公告10-6-21、大阪市、柴田繁三) 従來鑄造至難とせられたる無繼手トラツプ鉛管を完全安價に鑄造し得ると共に何等鑄型の外型を損傷することなく該鑄造鉛管及芯型を摘出し得る目的を以て、上部に2個の注入管を有し下部に掃除口を備へ適所に排氣管を設け且つ縦に2個に分割し得可くなしたるS字狀鑄型の内部に鑄造間隙を存して周壁數個所に易熔性金屬帶を圍繞したる芯型を挿置し之を密閉蓋を有する第二火室内に裝入し得可くなし第一火室内には把手を備ふる鉛熔解鍋を裝置し該鍋の注入口下と前記注入管上とに又狀導樋を設置してなる無繼手トラツプ鉛管鑄造装置。

**燒戻硬化性Co眞鍮** (10年特許公告第2617號、公告10-6-24、大阪市、化學研究所長) 比較的柔軟なる燒戻状態に於て各種の

加工を容易になし得たる後簡單なる燒戻操作によりて著しく硬化する特殊眞鍮を得んとする目的を以て、*Zn* 5~55%、*Co*, 0.5~50%、*Ni* 0.01~15%、*Mn* 0.01~3%、*Al* 0.01~6.5%、*Mg* 0.01~3.5%、殘部銅及之等の不純物を含有する燒戻硬化性Co眞鍮。

**珪瑯引釀造用タンク等の内外兩面珪瑯燒成方法** (10年特許公告第2620號、公告10-6-24、東京市、大谷信助) 内外兩面珪瑯引を施したるタンク其他の珪瑯引金屬製品が使用中溫度の變化等に依り伸縮するに際し金屬體生地と燒附珪瑯層との膨脹率の差異の爲め不平均なる力を珪瑯層に及すことを燒附珪瑯層なき外面の緩衝部に於て緩和し之が爲金屬體生地が伸縮するも珪瑯層に局部的なる過度引張或は壓迫を與ふる事なく容易に内外面共に珪瑯層の龜裂剝落を生ずることなく耐久、堅牢にして良く釀造用タンク其他の珪瑯引金屬製品としての使命を完たからしめ得べき珪瑯燒成方法を供する目的を以て、釀造用タンク等の如きもの圓外面に珪瑯燒附を爲すに當り内面は其の全面に互り珪瑯液を吹付け塗着せしむるも外面に對しては適當なる間隔を置き縱横何れか一方或は双方若は斜の方向等任意の方向、形状〔帶狀、波形、紋形等〕の比較的小面積なる金屬體生地伸縮緩衝部を設け該緩衝部以外の外面にのみ珪瑯液を吹き付け緩衝部に對しては珪瑯液を被着せしめず全體を燒成して珪瑯燒附を施し然る後外面の金屬體生地が露出せる前記緩衝部に防錆塗料塗粧を施して完成する珪瑯引釀造用タンク等の内外兩面珪瑯燒成方法。

**石炭類乾餾に於ける高熱物質消火装置** (10年特許公告第2621號、公告10-6-24、東京市、關允他一名) 炭製造に於ける廢氣によりて生成せしむる炭酸瓦斯を自己發生の蒸氣と混合して之を高熱状態にある乾餾物質に作用せしめ而して消火時間を短縮し且つ乾餾物質の品位を向上せしむる有效なる消火を極めて經濟的に行ふべき消火装置を得んとする目的を以て、炭製造装置を加熱すべき間接熱の火焰通路に螺旋狀をなせる蒸氣發生設備を設置し別に  $CaCO_3$  を裝填せる炭酸瓦斯發生設備と前記蒸氣と炭酸瓦斯を混合して消火氣體を生成せしむべき氣體混合設備と二重壁を有し給冷物質を旋回し内部に前記消火氣體を噴出する消火設備を備へて構成する石炭類乾餾に於ける高熱物質。

**Al又は其合金の硬化法** (10年特許公告第2681號、公告、10-6-28、東京市、日本金屬工業株式會社) *Al* 及び其合金に大規模に實施して夫等の硬度を著しく増大し得しめんとする目的を以て、*Al* 又は其合金を熔融し活性状態に在る炭素を觸れしめたる後急冷することを特徴とする *Al* 又は其合金の硬化法。

**管類水壓試験装置** (10年特許公告第2701號、公告10-7-1、神戸市、株式會社川崎造船所) 簡單なる装置と簡易なる操作方法により種々の管類の水壓試験を有效確實に行はんとする目的を以て、4個の4分圓形樁體を組合せて成れる圓盤體と其外周に填裝すべき断面コ狀のパッキングと之等4分圓形樁體の中心穀部に形成せられたる空所に嵌裝すべき頭部にテーパを附したる雄螺子と外側面にテーパを附したる雌螺子とを螺合せしめて成れる緊張體とを備ふる管類の水壓試験装置。

**砂鐵分離機** (10年特許公告第2740號、公告10-7-2、大阪市山形甚吉) 簡易なる操作にて砂に混じたる砂鐵を採集せんとする此種の用機を得んとする目的を以て、注水設備を有する漏斗の扁平なる出口に連接せる平底の樋體を先下りに成し該樋體には其の側壁内面に阻礙板の一側縁を蝶着し且つ下端縁と樋體の底面との間隙を調

節可能ならしめ他側縁を斜上向に所要角度の開きを保持せしめ側壁には阻礙板の着根の上手に排出窓を設けて成る砂鐵分離機。

**Fe Ni Al 型永久磁石合金の處理方法** (10年特許公告第2750號、公告10-7-2、東京市、三島徳七) 之に依り特に良好なる磁性が附與せらるゝものなる目的を以て、合金を冷却せしめ其冷却後該合金を再び1,100°C~熔融點に近き温度に加熱し次で急冷せしむることを特徴とする Fe, Ni, Al, 型永久磁石合金の處理方法。

**Fe Ni Al 型永久磁石合金の處理方法** (10年特許公告第2751號、公告10-7-2、東京市、三島徳七) 之に依り良好なる磁性を上記型合金に簡単に附與せんとする目的を以て熔融せる合金を出來る限り急速に冷却することを特徴とする Fe, Ni, Al, 型永久磁石合金の處理方法。

**コバルト工具鋼の熱成方法** (10年特許公告第2752號、公告10-7-2、神戸市、株式會社神戸製鋼所) 從來公知の方法に依りて熱成せしめたる Co 工具鋼よりも著しく二次硬度を高め従つて此種工具鋼にては加工殆ど不可能と見られし高滿俺鋼、滲炭鋼、硬度ブリネル500~600程度の特種鋼鉄に對しても容易に加工し得る程度の硬度を有する Co 工具鋼を容易に得んとする目的を以て、工具鋼として使用さるる C 0.5~1.4% Co 10~25.0% 外に適量量の W, Cr, V, Mo 等を含む Co 工具鋼を高温度より焼入したる後次で熱成せしむるに當り其熱成を550°C~590°Cにて短時づゝ數回乃至十數回に互り繰返し加熱して行ふ事の特徴とする Co 工具鋼の熱成方法。

**鉛の電解精鍊法** (10年特許公告第2953號、公告10-7-2、熊本市、島田貢) 從來適當なる電解液なきに苦しみたる鉛の電解精鍊に本電解液を用ひて電解的に陰極面に平滑なる純鉛を堅固に附着せしめ以て鉛の精鍊を行ふ目的を以て、ソヂウム、ブランバイト及び硝酸曹達のアルカリ性溶液にゼラチンを加へたる電解液を用ふることを特徴とする鉛の電解精鍊法。

**金色合金電氣鍍金方法** (10年特許公告第2754號、公告10-7-2、大阪市、菅原榮) 緻密硬質にして耐酸性に富み永く光澤を失はず鍍着鞏固なる金色合金鍍金を工業的に容易廉費に行ひ得べからしめんとする目的を以て、金色銅合金の各組成金屬を夫々青化物と成し溶解せしめたる水溶液に青化 Cr を添加したるものを鍍金液とすることを特徴とする金色合金電氣鍍金方法。

**選金裝置** (10年特許公告第2769號、公告10-7-3、東京市、三泉工業株式會社) 比較的多量に原料の分配を受くる上流數段の選金樋に於て採取し盡されざる微粒金分を簡單なる裝置に依りて最も有効に採取し選金能率を著しく増大する目的を以て、トロムメル用分配樋の下部臺面の傾斜に沿ひて内部に適當なる選金裝置を有する選金樋を數段に竝設し其中一群の選金樋を振動篩に通ずる側樋に開口せしめ前記篩上を通過したる原料を側部選金樋に導き篩目より濾過せられたる原料を他の傾斜せる選金樋を通して中央部の分級槽に導きたる後コンベヤーにより一旦上方に運搬して之より外側に伸張する微粒金採取樋に供給すべくなしたる選金裝置。

**アルミニウム若くは其の合金表面に防水防錆及電氣絶縁性皮膜の形成法** (10年特許公告第2800號、公告10-7-5、堺市合資會社日本電氣被膜研究所) 強度の防水及防錆性を具備し更に電氣絶縁性なる皮膜を Al 又は其の合金の表面上に形成して Al 又は其の合金の化學的及電氣的特性を改變して其の工業上の用途を擴大せんとする目的を以て、Al 若しくは其の合金の表面に電氣化學的操作により多孔質の酸化皮膜を生ぜしめたる該清水にて洗滌し其乾燥後アルコール中に投入し微細孔隙内に充分に該溶劑の滲透後更に

合成樹脂質物溶液中に投入し該溶液が酸化皮膜の孔隙内に滲透後外表面を清拭し後加熱することを特徴とする Al 若しくは其合金表面に防水防錆及電氣絶縁性皮膜の形成法。

**永久磁石用合金素材の鑄込用鑄型裝置** (10年特許公告第2831號、公告10-7-5、東京市、三島徳七) 鑄造操作及其の特有なる熱處理を一工程を以て行ひ得る裝置を提供する目的を以て、永久磁石用熔融合金を鑄型に注入後急速に或る一定の温度に迄冷却し之を或時間内此冷却せる温度又は其の附近に支持し得しむるため鑄型の外周を注入合金の有する熱に依りて熔融するに到らしめらるゝ如き金屬を以て包圍することを特徴とする永久磁石用合金素材の鑄込用鑄型裝置。

**固體球の熱間製造裝置** (10年特許公告第2862號、公告10-7-8、東京市、財團法人理化學研究所) 輾壓操作に於ける材料の抵抗を軽減して其の所要動力を節約し得しむると共に輾壓速度を大ならしめ従つて製造能率も増進し且つ製品球の分子組織を均整堅緻ならしめんとする目的を以て、圓周に所要球體の略半周に相當する斷面形をなせる環狀溝を列穿せる一對の輾子を兩輾子の環狀溝が對向する如く同一平面上に竝設して各輾子に低壓電源の極を接続し上記兩輾子間に適當に切斷せる直線棒狀の材料を輾子の軸線と並行に供給して該材料を低壓電路に於ける抵抗體たらしめ依て以て該材料を加熱しつゝ同一方向に廻轉する兩輾子間に於て所要の固體球に輾壓成形すべくなしたる固體球の熱間製造裝置。

**珓瑯製造法** (10年特許公告第2865號、公告10-7-8、大阪市香月鏡之助) 釉藥の光澤、機械的強度、金屬の密着性に於て硼酸、硼砂の使用量少き所謂市販耐酸珓瑯釉藥に比し遙に優越し然も耐酸性に於てもこれに比し一層優良なる珓瑯を得んとする目的を以て、珓瑯釉藥原料に全原料の3~35%アルミ酸曹達を混合して調製されたる珓瑯釉藥を金屬素地に施し焼成することを特徴とする珓瑯製造法。

**珓瑯燒成緩冷方法** (10年特許公告第2867號、公告10-7-8、東京市、大谷信助) 珓瑯燒成製造を上方も下方も各部總て均等に而かも徐々に冷却することを得せしめ以て均質堅牢にして容易に珓瑯層の龜裂、剝落等を生ずることなく耐久的ならしめんとする目的を以て、燒成窯より出したる許りの未だ高温なる珓瑯燒附製品を其のまま放置急冷せしむる事なく直ちに之を密閉自在の緩冷室に入れ出入口を閉ぢ緩冷室内を外氣と遮斷し次に緩冷室に設けたる適宜の煽風攪拌裝置に依り緩冷室の空氣を攪拌、循環せしめつゝ室内の氣温を各部均齊に保持し得る様になし乍ら珓瑯燒成製品を徐々に冷却することより成る珓瑯燒成緩冷方法。

**整流器用酸化銅皮膜生成方法** (10年特許公告第2873號、公告10-7-10、京都市、株式會社島津製作所) 簡易なる操作に依り正電流に對して逆電流の流過の極めて少なき能率長き整流器を得んとする目的を以て、母體銅板表面に之と合金能力を有する金屬と銅との合金薄層を豫め電氣的若くは化學的に附着形成せしめ然る後之を燒成する事の特徴とする整流器用酸化銅皮膜生成方法。

**出銑口閉塞機** (10年特許公告第2898號、公告10-7-10、東京市、日本製鐵株式會社) 簡單なる構造に依りて最も有効に且つ安全確實に出銑口の閉塞作用を行はしめ得る出銑口閉塞機を得んとする目的を以て、壓搾氣筒と噴管の中間に2個の作動氣筒を設け其の内部の唧子が壓搾氣筒唧子の一摺動によりて互に反對運動をなす如き構造を有し且つ作動氣筒と噴管との境界部に遮止瓣を設けて交互に其の通路を遮斷することを特徴とする出銑口閉塞機。

**錫の電解析出法** (10年特許公告第2904號、公告10-7-10、熊本市、島田貢) 電解液を用ひ電解的に陰極となれる諸種の金屬面に銀白色の美麗なる錫の鍍金を得或は陰極面に平滑堅固なる純錫を附着せしめ以て錫の精錬を行ふ目的を以て、亞錫酸曹達及び食鹽のアルカリ性水溶液にゼラチン〔又は膠〕を加へたるものを電解液とする事を特徴とする錫の電解析出法。

**Cu, Fe, Mn Al 合金** (10年特許公告第2908號、公告10-7-12 東京市、海軍大臣) 比重小、抗張力大にして高温度に耐へ耐腐蝕性大にして廉價なる合金を得る目的を以て、Cu 25%~40%、Fe 30%~55%、Mn 15%~25%、Al 0.5~15% を含有する合金。

**硫黄回收方法の改良** (10年特許公告第2919號、公告10-7-12、米國、ジョージ、ホーマー、グリーンソン、外一名) 後の處理に有害なる夾雜物を有効に除去すべき改良方法を得んとする目的を以て、硫黄蒸気を含有する瓦斯狀生産物をして液狀硫黄と接觸を保ちつゝ又は液狀硫黄中を通りつゝ且又成るべくは 450~250°C の間の温度に於て液狀硫黄の流れとは反對の方向に流通せしむる事より成れる硫黄蒸気を含有する瓦斯狀生産物より有害夾雜物を除去する方法。

**大型珐瑯鐵器の製造法** (10年特許公告第2927號、公告10-7-12、大阪市、大島峰次郎) 大型の珐瑯鐵器を極めて容易且つ經濟的に製造せんとする目的を以て、組合せて一體となし得る様且つ夫々突縁を有する數多の部分的鐵板を作り之等に夫々常法に依り珐瑯面を形成せしめ後突縁部が互に相接する様組立て、所要の形となし之を其の内部に温湯を湛ふるか又は熱氣を送入しつゝ相接する突縁部に於て夫々互に熔接せしむることに依り成る大型珐瑯鐵器の製造法。

**金屬處理法** (10年特許公告第3027號、公告10-7-19、東京市、日本金屬工業株式會社) 金屬の形を變化せしむることなく短時間にて含有瓦斯を殆ど抽出し電氣的、磁氣的、機械的並に化學的性質を容易に優秀ならしめんとする目的を以て、金屬を其内部並に表面に生ぜる所謂錆より酸素を抽出する如き高度真空中に於て融解點以下 30°C~50°C 附近以上に而して融解せざる様加熱することを特徴とする金屬處理法。

**銅合金** (10年特許公告第3048號、公告10-7-22、東京市 古河電氣工業株式會社) 強力にして且繰返壓縮引張又は繰返彎曲に對して耐力大なる銅合金を得んとする目的を以て、Si 2.0%~1.00 Al 0.1%~5.0% Zn 0.1%~10.0% と殘部銅を含有する強力にして且耐疲労性の大なる銅合金。

**乾式 Al 電解コンデンサー** (10年特許公告第3129號、公告10-7-26、東京市 財閥法人理化學研究所) 極めて漏洩電流の少き大容量のコンデンサーを簡易に得んとする目的を以て、豫め陽極處理を施して得たる多孔質 Al 酸化皮膜を電解物質の保持物たると共に兩電極の隔離板たらしめ兼ねて其下層に存する活性層を補強するに利用せる乾式 Al 電解コンデンサー。

**球面體の研磨裝置** (10年特許公告第3136號、公告10-7-26 東京市 財閥法人理化學研究所) 簡單にして低廉なる機械設備に依り豫め略球狀を爲せる多數の材料を一個宛連續して自動的に研磨し且つ其の操作をして容易迅速ならしむると共に研磨を正確ならしめんとする目的を以て、適宜の銳角を爲す楔狀間隔を保ち互に相對峙して一定方向に運動する研磨面と其研磨運動の合力の方向に對し適宜の鈍角を爲し楔狀間隔を斜に縱斷する案内片とを備へ材料球を互に略直角なる兩自動軸の間に絶えず其自動軸の方向を偏倚しつゝ自

轉せしめ且つ案内片上に沿ひ楔狀間隔の大なる側より其小なる側に向ひ移動せしめて所要球面體の直徑に等しき楔狀間隔の位置に達すべくしたる球面體の研磨裝置。

**Al 電解用電極燒成法の改良** (10年特許公告第3139號、公告、10-7-26、東京市 片谷清造) 在來法に比し燒成時間を著しく短縮し極めて迅速に然も簡易なる燒成爐によりて容易に燒成し優良なる電極を安價に得んとする目的を以て、Al 電解用電極を燒成するに當り燒成前に其電極素材の周圍に  $Al_2O_3$  とコールタール又はピッチ又は其他の瀝青質物の混合物より成る練成物を塗着し乾燥し燒成爐内にて火焰又は熱風に直接觸れしめて燒成せしむることより成る Al 電解用電極燒成法の改良。

**Al 合金** (10年特許公告第3144號、公告10-7-26、東京市 那須敏之) 質強靱にして耐蝕力著しき航空機、艦船、自動車其他の器具機械の用材の製造に適用すべき壓延用及鑄造用合金を得る目的を以て、Ti 0.1~1.0%、Si 0.1~2.0%、Mn 0.1~1.5%、Mg 0.1~1.7%、Cu 2.0~5.5% を含有することを特徴とする Al 合金。

**熱處理爐に於ける鋼線酸化防止法** (10年特許公告第3146號、公告10-7-26、大阪府 關西製鋼株式會社) 簡單なる方法に依り鋼線の酸化を防止し且加熱管内に於ける瓦斯の還元性を適宜に調節せしめんとする目的を以て、加熱管の起點部を熱に對し粘性を變化し得べき油中に没入開口せしめ潛行鋼線に油を附着して鋼線の酸化を防止せしめむると共に該油を加熱して其粘性を變ずることに依り油の附着量を任意に調節せしめ得たることを特徴とする熱處理爐に於ける鋼線酸化防止法。

**球面研摺裝置** (10年特許公告第3203號、公告10-7-31、京都市 本射鶴松) 頗る簡素なる裝置に於て多數の球體一齊に迅速且正確なる研摺仕場をなかしめんとする目的を以て、平坦面の鋼製圓盤上に該圓盤より徑を適當に縮搾せしめ且上下兩面を水平平坦面に研磨し内外兩側面を垂直に研磨したる遊動輪とそれと同一に各面を研磨し大いさに於て約半徑となしたる遊動輪とを同心圓になして載置して兩輪間に上口より稍一部を上方に擡出する程度犬の粗研鋼球を撒布敷列し而して周縁の下面に低き側壁を垂設したる前記圓盤と同一徑の錘重盤を冠載し之に適當の動力を附加して各球體を轉動せしめ續いて球群の轉廻に依り廻動作用を遊動輪に及ぼしそれが無軌道なることにより左往右往しつゝ遲緩なる遊動をなし群球の列を變轉せしめ球面に對する接觸を多からしめて研磨を爲さしむべき球面研摺裝置。

**ピストンの加壓鑄造用鑄型裝置** (10年特許公告第3205號 公告10-7-31、東京市 田中早苗) 操作簡單にして而も鑄型全體を充分強壓に耐へ得る如く保持し得べからしむると共に壓入速度を極度に大ならしめずして強壓を加へ質緻密にして堅硬なるピストンを鑄造せんとする目的を以て、ピストンの外形に適合すべき孔を有する鑄造型を取付けたる可動枠に小齒輪とラックとの齧合關係に依り鑄造型の孔より出入すべき中型支持杆を設け該支持杆の出入端に丁字形突出部を形成し之に兩側よりピストンボスを形成すべき中型を添へ中型のピストンボスに當る部分より突出部を貫き連結ピンを挿入し兩中型及支持杆を結合して支持杆を引込め鑄造型に對設したる心杆を押出し之に依り連結ピンの端を抑ふることに依りピストン加壓鑄型を形成せしむべくし更に鑄造型が壓接すべく臺枠上に設けたる座面に開口せる熔融金屬壓送シリンダーのラムと前記の可動枠とを水壓機に依り司動し得べからしめたるピストンの加壓鑄造用鑄型裝置。

**ポルトランド、セメント類の風化を豫防し且つ其強度を増加せしむる方法** (10年特許公告第3221號、公告10-8-2、東京市 陳野重中) 貯藏期間中の風化を豫防し且つ加水と同時に生成する水酸化石灰と化合して一層其強度を増加せしめ得る目的を以てポルトランドセメント又は其系統のもの例へば高級ポルトランドセメント、白色ポルトランドセメント等に少量の吸収、吸着性強大にして水酸基に富む珪酸鹽即ち福島縣安積郡多田野村及穂積村附近に産出する石英粗面岩天然分解物の微粉末を配合することを特徴とするポルトランドセメント類の風化を豫防し且つ其強度を増加せしむる方法。

**耐蝕性高力 Al 合金** (10年特許公告第3243號、公告10-8-2、廣島縣 海軍大臣) 鍛鍊又は壓延状態にありて焼入處理を施さず焼鈍状態に於て極めて高力にして而も海水に對する耐蝕性大なる鍛鍊材料たる輕合金を得る目的を以て、Mg 7-8% Cr 0.1-0.3% 殘部 Al を含有せる合金を鍛鍊又は壓延し或は之を 350°C にて焼鈍したる Al 合金。

**鑄型** (10年特許公告第3204號、公告10-7-31、東京市 株式会社芝浦製作所) 耐火材料を半融する從來の大型鑄型の缺點を一掃せる小型堅牢にして經濟的なる鑄型を得る目的を以て、中空耐火管を收納支持して其の熱溜及補強部を構成し高温度に加熱する時には前記管内に收納せる材料を半融するに充分なる熱を前記耐火管に供給すべくせる中空金屬管を具ふる鑄型。

**爐の燃焼調整装置** (10年特許公告第3215號、公告10-7-31 佛國 エル、エフ、テ、フォンドリ) 爐に於て燃焼を高效率に行はしめ最高可能の温度を發生せしめんとする目的を以て、爐は空氣供給口の上部に裝填操作をなし得る蓋を備へ而して爐の空氣供給室に通ずる外側管の入口に空氣供給源に通ずる嘴口を其周圍に間隙を存して此等外側及嘴口を圍めて包匣を設けて此包匣を一方に於ては爐の燃焼室に他方に於ては煙道に連通すべくなし而して爐に必要な量より多き量の空氣を供給し且前記外側及嘴口の關係寸法を前記供給空氣の一部のみを爐に入れ殘部は之を前記間隙より遁去し爐より排出せらるゝ瓦斯と共に煙道へ通ぜしむる如くを選び以て燃焼室内の燃焼旺盛にして該室内部の壓力高きときは供給空氣の大部分は前記嘴口より前記包匣を経て煙道へ遁るゝも燃焼旺盛ならず壓力低きときは供給空氣の大部分は嘴口より外側管を経て前記空氣供給室に入り燃焼作用に與らしむべくしたる爐の燃焼調整装置。

**硫化粉鑄の團鑄製造方法** (10年特許公告第2444號、公告10-6-15、東京市、日本鑛業株式会社) 原發明に於ける如く粘結剤を必要とせず而も比較的低壓力にて強固なる團鑄を製造せんとする目的を以て、黄鐵鑄又は白鐵鑄を含有する粉鑄を酸素を含有せざるか又は酸素の供給不充分なる雰囲気内にて 700~950°C に加熱し粉鑄中より一原子硫黄を分離放出せしめたる後其の燒粉を冷却せしむる事なく軟化温度附近の高温を保持する儘にて加壓し以て團鑄となす事の特徴とする硫化粉鑄の團鑄製造方法。

**凹凸模様轉寫用金屬輾子製作方法** (10年特許公告第2473號、公告10-6-17、堺市、淺香久平) 實物其の儘の精緻なる凹凸模様を印刷し得る輾子を極めて簡單且容易に得んとする目的を以て、分解自在となしたる圓管體の内周全體に沿ひ所要の縮皺又は凹凸模様を有する實物薄片を貼着し其凹凸表面を電導體となし之に電氣鍍金を施して外面に縮皺又は凹凸模様を有する金屬管を形成することを特徴とする凹凸模様轉寫用金屬輾子の製作方法。

**金屬閃光性箔の製造法** (10年特許公告第2474號、公告10-

6-17、東京市、矢野廣) 從來存在せる閃光板又は閃光電球に使用する Al 箔及 Mg 粉末の缺點を除去し簡單にして大氣壓の下に爆音又は煙塵を發生せず燃焼力を均一迅速ならしめ閃光力の極めて増大なる寫眞撮影用閃光板及閃光電球に使用する金屬閃光性箔を安全且安價に製造せんとする目的を以て、金屬 Mg 粉末、過鹽素酸アモニウム、硝酸 Ba、及炭酸 Mg、の各適量をニトロセルロース液の適量に加へて混合攪拌してなる混和溶液劑を Al、Au、Ag、Cu、Sn の各種金屬箔に吸付乾燥して吹付箔を形成するを特徴とする金屬閃光性箔の製造法。

**灼熱用堅爐の連續的排出装置** (10年特許公告第2476號、公告10-6-17、關東州、山崎長七) 連續的に灼熱したる材料を排出することによりて堅爐内の最高加熱帶を常に一定の高温度に保ちつつ均質なる灼熱物を得んとする目的を以て、堅爐を底部に下邊に數個の凹部を有する内圓錐管を定着し該内圓錐管の外部に同動し下邊に前記凹部と相一致する凹部を有する外圓錐管を密接せしめ前記内外圓錐管の下邊開放部に内圓錐管の中心軸に偏心的に同動せしめ且つ上下動し得る圓錐形の底盤を臨ましめ且つ前記外圓錐管の下邊に數個の凹部を有する内圓錐管の上邊を定着し該内圓錐管の外部に密接し下邊に前記凹部を相一致する凹部を有する外圓錐管の下邊を底盤の直下にありて底盤と同一運動を成す受盤に定着し内外圓錐管の凹部が相一致したる時は内外圓錐管の凹部は一致せず後者の凹部が相一致したる時は前者の凹部は一致せざる様外圓錐と外圓錐とを反對方向に廻動せしめたる灼熱用堅爐の連續的排出装置。

**瞬間的に増減する應力を測定する装置** (10年特許公告第2586號、公告10-6-22、東京市、池田正二、外一名) 瞬間的に増減し或は交互に正反對方向に働く應力を安全に確實に測定し得べき装置を得る目的を以て、頑丈なる一對の彈性盤を頑丈なる支持棒の兩端に相對向せしめ其の周縁に於て頑丈に定着し彈性盤の内側中央部に反射鏡の座板を定着し彈性盤の變形量を座板に與ふべくなし座板の最も多量に傾斜すべき位置に反射鏡を定着し且つ前記支持棒と試験片とを直列に互に連結し其の連結したるものを試験機の固定點と應力源との間に定着する如く爲したる瞬間的に増減する應力を測定する装置。

**象嵌方法** (10年特許公告第2496號、公告10-6-19、京都市、北村安太郎他一名) 經濟的且容易に二種又は二種以上の金屬の象嵌をなさしめ象嵌部の密着を堅固なしめんとする目的を以て、鐵面に布目狀其他の凸凹細線を全面に刻設し全面的に又は部分的に模様型を形成せる Au、Ag、Cu、Pt 合金等の金屬中の一種の金屬薄板に他の一種の異種の金屬薄板を全面に又は部分的に重合裏付けせるものを鐵面に強壓固定する工程と後表面の金屬薄板の一部を除去して裏面の異種金屬薄板を模様狀に露出せしむる工程と共に次に強壓を施して全表面を水平ならしむる工程との結合を特徴とする象嵌方法。

### 特許拔萃

特許番號	名稱	特許權者	公告拔萃掲載本誌番號
111158	可燃性中間層による噴射鍍金體形成法	江澤謙二郎	なし
111113	Al の着色法	西澤勇志智	第21年2號
111199	齒科用アマルガム合金	アーサー・ウエリントン・グレーイ	第21年4號
111111	骸炭爐用自塞戸	ドクダー・シーナット・アンド・カムガニー、ゲゼンシャフト、ミツハ、ベシユレンクテル・ヘフツング	なし